

発議案第15号

危険なオスプレイ配備計画の撤回を求める意見書について

上記の発議案を別紙のとおり地方自治法第99条及び会議規則第14条第1項の規定により提出します。

平成27年6月17日

八千代市議会

議長 嵐 芳 隆 様

提出者	八千代市議会議員	伊 原 忠	Ⓜ
賛成者	八千代市議会議員	堀 口 明 子	Ⓜ
	同	三 田 登	Ⓜ
	同	植 田 進	Ⓜ

## 提案理由

国に対し、米軍横田基地などへの危険なオスプレイの配備計画は撤回するよう強く求める。

これが、本案を提出する理由である。

## 危険なオスプレイ配備計画の撤回を求める意見書

日米両政府は5月12日、2017年より米空軍横田基地に、特殊作戦用の垂直離着陸輸送機CV22オスプレイ配備の計画を発表した。

会見では、中谷元防衛大臣は「わが国政府として独自に分析評価を行い、機体の安全性を確認した」として、その安全性を強調していたにもかかわらず、わずか6日後の18日、米海兵隊所属の垂直離着陸機MV22オスプレイが、ハワイでの訓練中に墜落炎上、2人が死亡する重大事故が発生した。

日本政府は、「事故原因など速やかな情報提供を求める」としていたものの、米軍自身がまだ事故原因を明らかにしていないもとので、菅義偉官房長官は「オスプレイは安全だ」と一方的に断定。中谷防衛大臣も「安全については、米側が判断すべきだ」として、飛行停止は求めない考えを示したのである。

日本国民の命と安全・安心を守るのではなく、米軍を守るかのような姿勢に「いったいどこの国の政府なのか」「日本は独立国なのか」など、批判の声が起こるのも当然である。

防衛省の2012年9月の資料では、10万飛行時間当りの重大航空事故（クラスA）の件数は、MV22機で1.93件、CV22機は13.47件とされている。人口過密の首都・東京に、ハワイで事故を起こしたMV22機より、7倍も事故割合が高いとされるCV22機を配備するなどは論外である。

よって、本市議会は国に対し、米軍横田基地などへの危険なオスプレイの配備計画は撤回するよう強く求めるものである。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成27年6月25日

八千代市議会

提出先

内閣総理大臣様  
防衛大臣様